



建昌っ子だより

【校訓・キャッチフレーズ】元気で 力のある 建昌の子

実りの秋

校長 坂口 利一

9月に入ってから猛暑の日が続いており、異常気象と言われる天候が日常になりつつあることに不安と恐れを感じます。

さて、学校では2学期は実りの秋と言われるように、子供たちが1年の中で心身ともに最も成長する時期です。これから秋季大運動会に向けて、みんなで協力し合いながら練習に取り組みはじめます。特に、高学年の子どもたちは、全校児童の中心として応援団や係の仕事に張り切っています。熱中症対策を万全に行いながら教育活動を進めてまいります。

また、学習では、新たな内容に主体的に取り組み、自分の学びを振り返りながら理解を深めようとする姿が見られます。

子供たちの活動を見ていると、自分から調べ学習をしたり自信をもって表現したりする場面に出会います。その姿を見て感動することがよくあります。例えば、表現する場面でキラキラした自信ある姿や、みんなの前で自分の考えを堂々と発表する姿は、子供の努力に裏付けられたものに他なりません。それは失敗しながらも、自分で考えて試行錯誤しながら目的をもって取り組んでいるからこそだと思います。

学力には「見える学力」と「見えない学力」があるといわれます。「見える学力」とは、「計算ができる」「漢字が書ける」など、具体的な目標が比較的捉えやすく、数値化して成果を自覚しやすいものだといえます。一方「見えない学力」とは、「非認知能力」ともいわれ、テストなどで数値化することが難しい内面的な力です。例えば、「粘り強く頑張る」「自分の考えをもって表現する」「チャレンジする」「思いやりをもつ」「協力する」などの力で、子供たちが人生を豊かにする上でとても大切なものといえます。また、「見えない学力」は、友達と協力して何かを創りあげたり、互いの意見を聞き合い調整しながら課題解決に取り組んだり、「他者とのかわり」を通して多くを学ぶことができます。

つまり、「見えない学力（非認知能力）」は、様々な人とかかわり、つながり、学び合える学校でこそ育める力であると考えます。これらは日々の学習活動を通して培われる力でもあります。運動会や校外学習などの大きな行事は、さらにその力を伸ばす大きな節目となります。

これからも、学校だからこそできる活動を大切に、一人一人がよさを発揮していける学校づくりに努めてまいります。



